

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県中津川市 総合病院 中津川市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透訓方	救臨災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
78,950	25,973	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
360	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	360
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
316	-	316

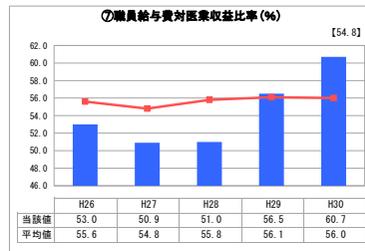
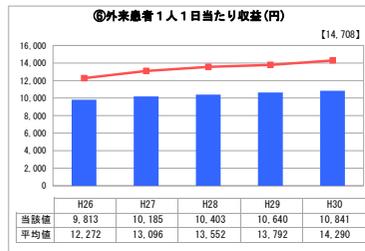
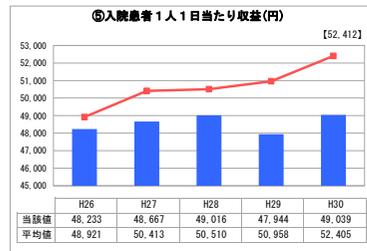
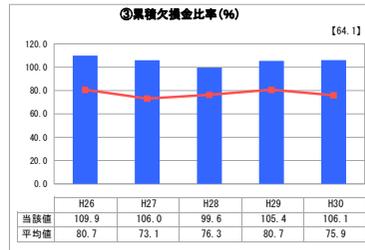
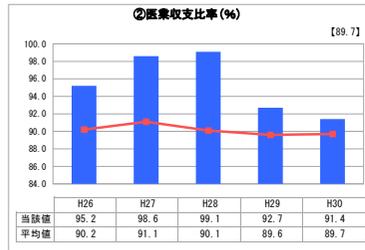
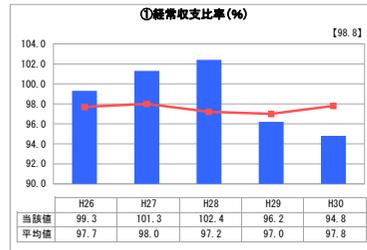
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

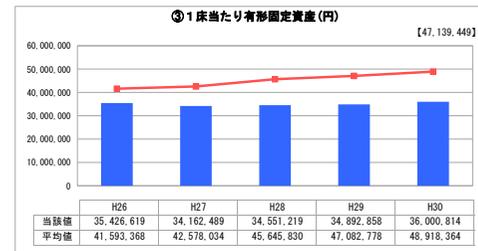
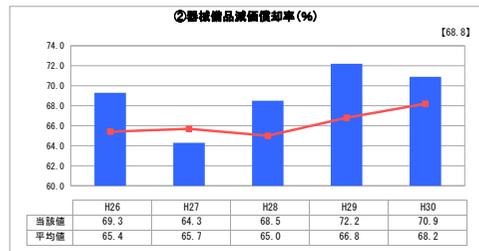
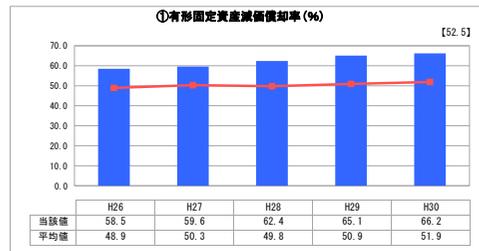
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

評価・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

I 地域において担っている役割

市内の他の医療機関等と綿密な連携を図り、症状が軽い身近な医療は地域の診療所が担い、重篤な急性期・高度医療を当院が担っている。総合病院の利点を活かした専門性を有する質の高い高度医療を提供する医療機関として東濃東部地域の中核病院として役割を果たしている。また、平成28年度に策定した『新公立病院改革プラン』に沿って、同市内の坂下病院と機能分担を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①医療収益については病床稼働を再稼働した事もあり増加となり、医療外収益も増加となったが、坂下病院からの職員の実働による給与費の増加の影響により経常損失となった。
②①で述べたように医療収益は増加したが、給与費の増加の影響が大きく医療損失となった。
③医療支出比率については前年より増加となり、依然として高い数値であり、より一層の削減の努力が必要である。
④病床利用率は増加傾向にあるが、平均値に対して低く今後これを以上に改善を要する必要がある。
⑤前年度より増加し、H28年度の値を超える程度まで回復しているが、これも同様に平均値を下回っており、改善の余地がある。
⑥職員給与対医療収益比率は平均値を大きく上回っている。これは軽微での受診が依然として多いことが影響していると考えられる。
⑦坂下病院からの業務移転の影響から今年度も高い数値となっている。
⑧材料費対医療収益比率は平均値を大きく上回っているが、業務との関係交渉の結果、前年度より減少した。

2. 老朽化の状況について

①当院は竣工から30年ほど経っており、建物付属設備等の老朽化が著しい。計画的な施設更新を検討する必要がある。
②前年度より微減となっているが、依然として平均値を上回っている。器械備品については、これまで以上に計画的な更新を行う。
③平均値を下回っているが、前年度より増加しており、今後の負担増にならないよう計画的な備品購入や施設改修を行っていく必要がある。

全体総括

新たに休床病床を再稼働したこともあり、収益は増加している。しかし、「新公立病院改革プラン」に沿って坂下病院との機能分担、集約を行っており、それに伴って職員の実働等による給与費の増加が大きく、経営の状況は前年に比べて悪化している。施設についても老朽化が進んでおり、これまで以上に計画的な更新を行う必要がある。以上から今後も厳しい状況であるが、地域の中核病院としての役割を果たすべく、職員の資質向上と経営の改善に努めていく。

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県中津川市 国民健康保険 坂下病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド 診 訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
78,950	11,190	第1種該当	10：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

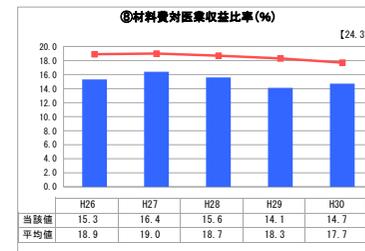
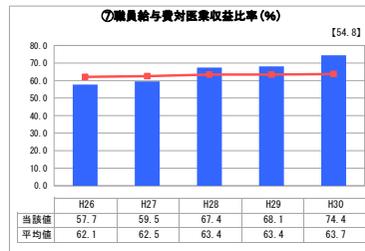
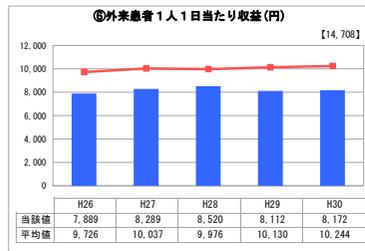
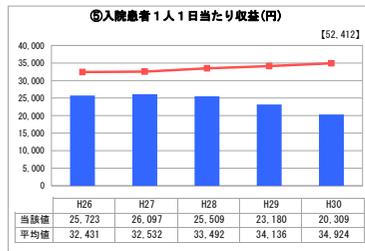
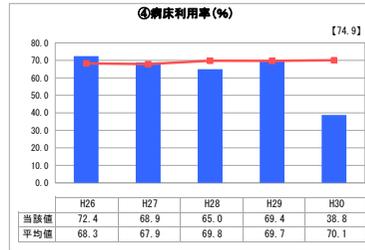
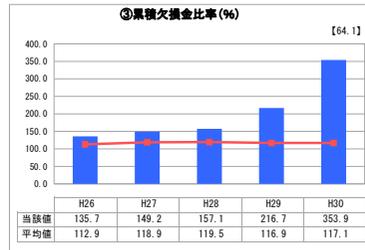
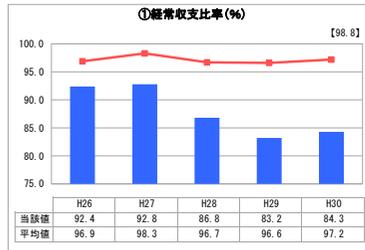
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	50	50

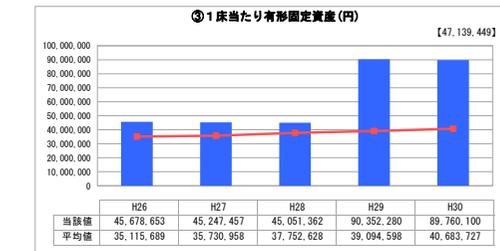
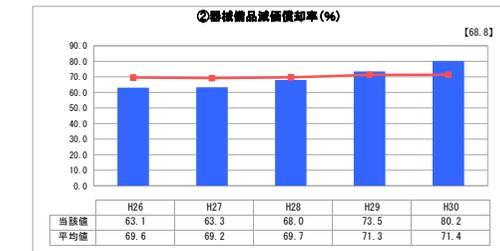
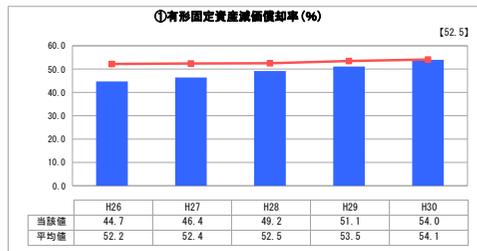
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

評価・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理費制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

同市内にある総合病院中津川市民病院と相互に連携・協力して地域医療の安定的な提供を担うよう努めている。

その中でも当院は坂下地区、山口地区、川上地区を中心に、長野県木曾郡南部地域を含む地域医療を支える役割を果たしている。

II 分析稿

1. 経営の健全性・効率性について

「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って平成30年8月1日より一般病床50床を休床したこと等により、入院患者に加え、外来患者も減少し、これにより経常収支、医療収支が共に悪化しております。また、その影響もあり累積欠損金は増加し続けており、病床利用率、入院患者1人1日当たり収益についても休床の影響等から大きく下がっております。外来患者1人1日当たり収益は昨年度と比較して増加しておりますが、患者減の影響により平均値より大きく下回っております。職員給与費対医療収益比率は医療収益が大きく減少していることにより増加しております。材料費対医療収益比率は昨年と同水準で推移しておりますが、患者減により平均値を下回る状況となっております。このような状況から今後、平成31年3月に見直した「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って、より一層の経営改善と効率化に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率および器械備品減価償却率については、年々増加しているが、「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って診療所化されることを考えると、固定資産の更新等は難しく、今後も増加が見込まれる。

1床当たり有形固定資産については平成29年度に引き続き平均値を大きく上回っているが、平成29年8月1日より病床数を100床に削減したことに伴うものと考えられる。

全体総括

平成31年3月に改訂した「中津川市新公立病院改革プラン」に沿って改革中ではあるが、これまで以上に費用の削減や経営の効率性を高めるとともに、改革プランに沿って中津川市民病院との機能分担と連携強化等を通して中津川市病院と坂下病院の両病院合わせた収支均衡を目指していく。

また、今後も坂下地区、山口地区、川上地区を中心に、長野県木曾郡南部地域を含む地域医療を担う医療機関としての役割を果たしていくよう努める。